

奇跡の原っぱ 「そうふけっぱら」活動報告会



自然のちからで、明日をひらく。

日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

発表：日本自然保護協会
高川晋一





2011年 亀成川を愛する会 撮影

全国の専門家からも注目される原っぱ

- 「日本の草原特有の生物が多く生息している
極めて高い学術的価値を持つ草原」
- 「**関東平野で保全すべき草地**を一か所挙げると
すれば、この地域から選ばれる」
- 「関東平野一帯を見渡しても、これほど
生物相の豊かな里山環境はほとんど残されていない」
- 「今後の都市域における**生物多様性保全のモデル**
にもなるのではないか」

「そうふけっばら」とニュータウン開発用地



千葉ニュータウン開発計画

- 1966年に開始
- 千葉県企業庁とUR都市機構の事業
- 法律に基づく事業(新住宅市街地開発法)
- 50年の間に、中断や事業縮小が相次いだ
- H25年で完了。あと5年で用地を処分。



半世紀ぶりに進む開発工事

■ 2012年から開発が急ピッチで再開

※企業庁はH27年度末に解体され、URはH30年に撤退予定

※多額の負債。国から「負債を減らせ」と強く迫られている

※古くから始まっている事業なので、環境アセス調査は適用範囲外です

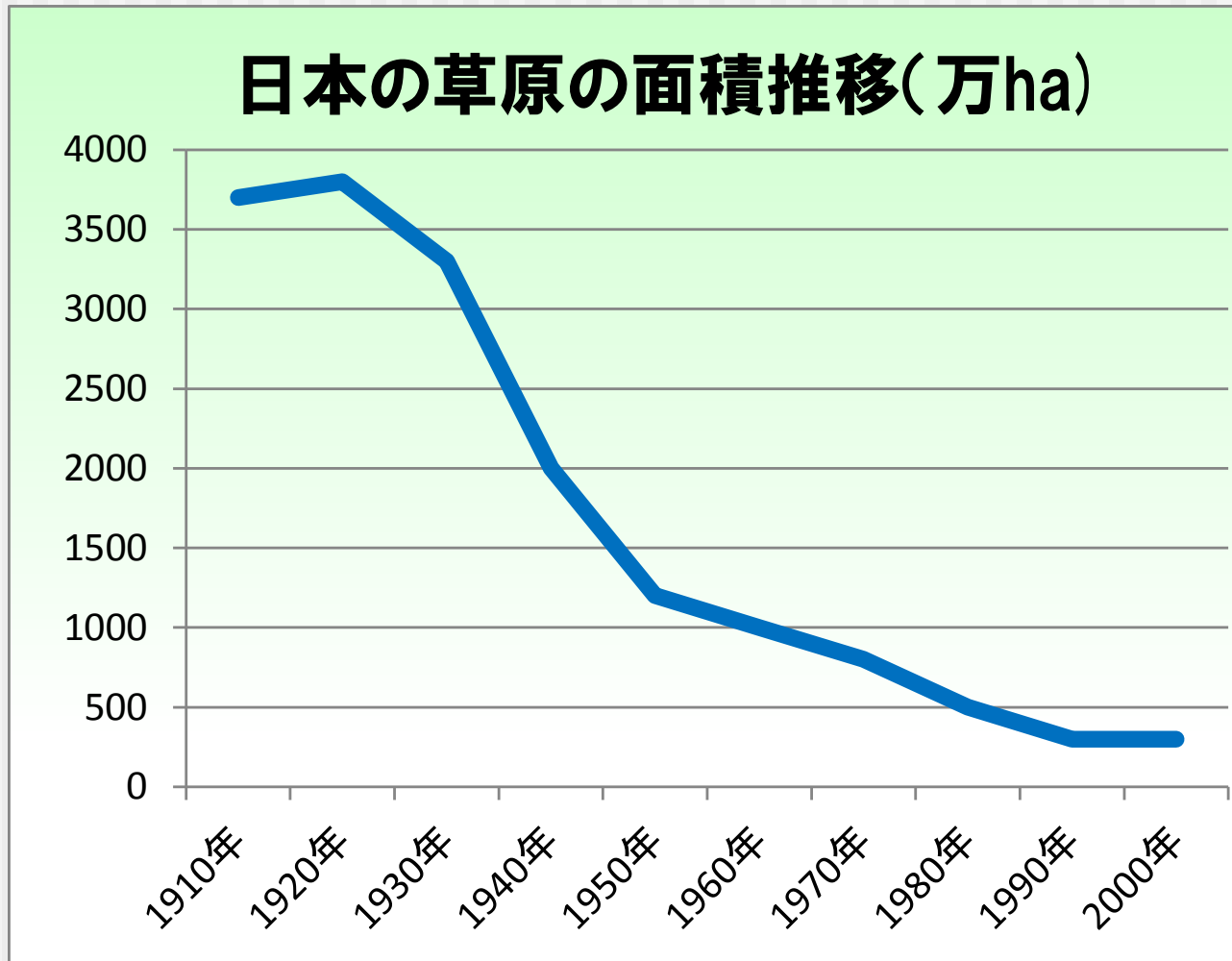


そうふけっばらはなぜ「奇跡」か

なぜ「奇跡」か？

**広い草原が残って
いることが、奇跡**

姿を消す 原っぱ



小椋純一(2006)「日本の草地面積の変遷」京都精華大学紀要30:160-172

なぜ原っぱが危機に？

衰退の主な要因

1. 伝統的な利用・管理の停止
2. 開発による破壊
3. 外来種の侵入

■ 原っぱは「人の利用」により維持されてきた環境



台風・地滑り・洪水・山火事・噴火



安定した状態での遷移

姿を消す原っぱの生きもの

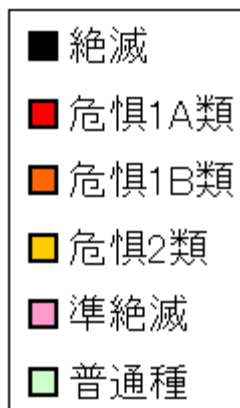
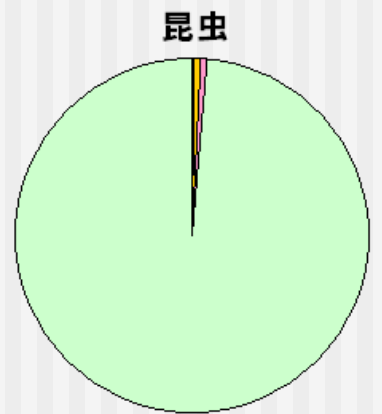
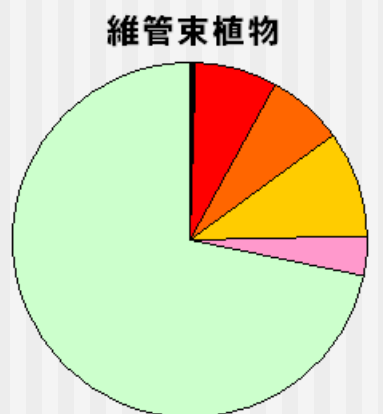
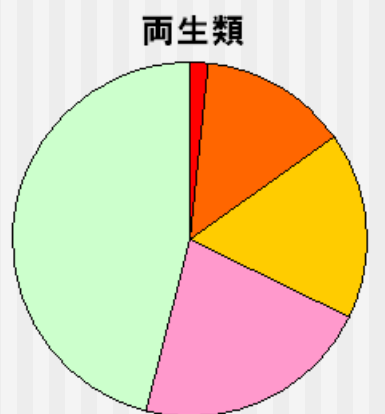
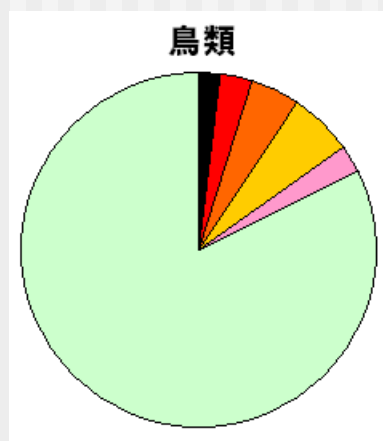
■ 秋の七草・・・草地をすみかとする生き物



種名	環境省RDBランク	絶滅危惧種となっている県数
キキョウ	絶滅危惧Ⅱ類	43
フジバカマ	準絶滅危惧	30（他6県で絶滅）
オミナエシ	—	17
カワラナデシコ	—	7
ススキ	—	—
クズ	—	—
ハギ(総称)	—	—

参照元: ウェブサイト「日本のレッドデータ 検索システム」(2008)

日本での絶滅危惧種の割合



環境省レッドリストより

・かつての「普通種」の多くが絶滅の危機に

なぜ「奇跡」か？

開発計画があった
から草原が残された

ニュータウン計画が奇跡を起こした！？

■ ニュータウンの開発予定地

⇒開発が中断したことで市街化をまぬがれてきた

⇒定期的に草刈りがされ、草原のまま維持された



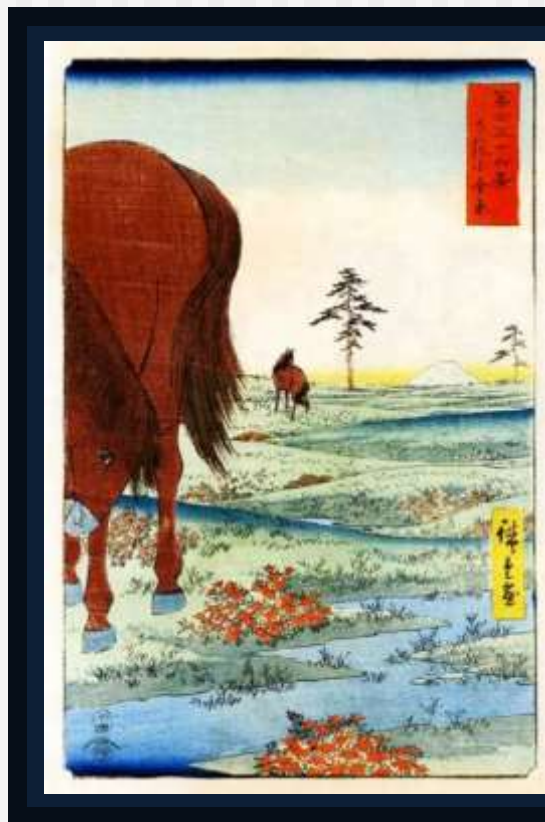
全てが「偶然」だが、他では絶対に無い条件

1000年以上つづく草原

■ 下総の牧



日本から失われつつある「原風景」が残っています



そうふけっばらの自然環境の価値

千葉県のキツネ



保護上重要な脊椎動物

B アカギツネ 食肉目 イヌ科

Urocyon vespertinus (Linnaeus, 1758)

【種の特性】メスよりオスの方がやや大きい。本州産の亜種 *U. v. japonica* では、頭胴長52-70cm、尾長29-42cm、体重1.9-6.6kg (Uraguchi, 2009)。やぶ、森林、耕作地が混在する生息環境を好む。主に小哺乳類、昆虫類、果実を食す。夜行性だが、日中も活動する。産卵に3-5頭の子を出産し、地中に掘った巣穴で育てる。行動圏の面積は100-800ha (Uraguchi, 2009)。

【分布】北海道へ九州、北半環に広く分布。

【県内の状況】生息情報は利根川の河川敷、下総台地、県南部の農耕地帯など県内広くから得られている(落合ほか, 1999)。中堅食肉類の指標と比べて禁猟個体の確認数はきわめて少なく(落合ほか, 2008)。千葉県立中央博物館に収蔵されている県内産標本は次の4個体のみである：松尾町産・1987年、東金市産・1987年、白井市産・2002年、成田市産・2006年。第二次世界大戦前後から生息数はほとんどなくなり、それが時代の経過とともにさらに減少したと考えられる(落合ほか, 1999)。1999年度より県内での狩猟が禁止されている。千葉県のカキツネについては、絶滅地域として示す文献や北海道からの移入があったと記す文献が所収するが、いずれも誤りである(落合, 2002b)。

【保護対策】生息状況の把握、狩猟禁止措置の継続、巣穴を中心とした生息環境の保全が望ましい。

【引用文献】落合(2002b) / 落合ほか(1999, 2008) / Uraguchi(2009)

【写真】1987年、東金市 / 千葉県立中央博物館所蔵標本 (落合啓二)

国：掲載なし
千：ローB-B




アカギツネ

■ 千葉県ではBランク(重要保護生物)に掲載

⇒**B**:「放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来Aランク(絶滅寸前)への移行が必至」

豊かな生態系ピラミッドが存在する

- キツネが普通に見られる
- 7種類のタカ・フクロウの仲間が見られる



そうふけっぱら周辺の 豊かな生物多様性

■ 830種以上の動植物

- 関東の1/4、印西市の8割の草地性植物がみられる

■ 多数の絶滅危惧種

- 環境省指定24種、千葉県指定109種



「亀成川源流部の生物多様性評価レポート」日本自然保護協会(2012)

草原を含む、多様で広大な自然環境



ニュータウン計画が奇跡を起こした！？

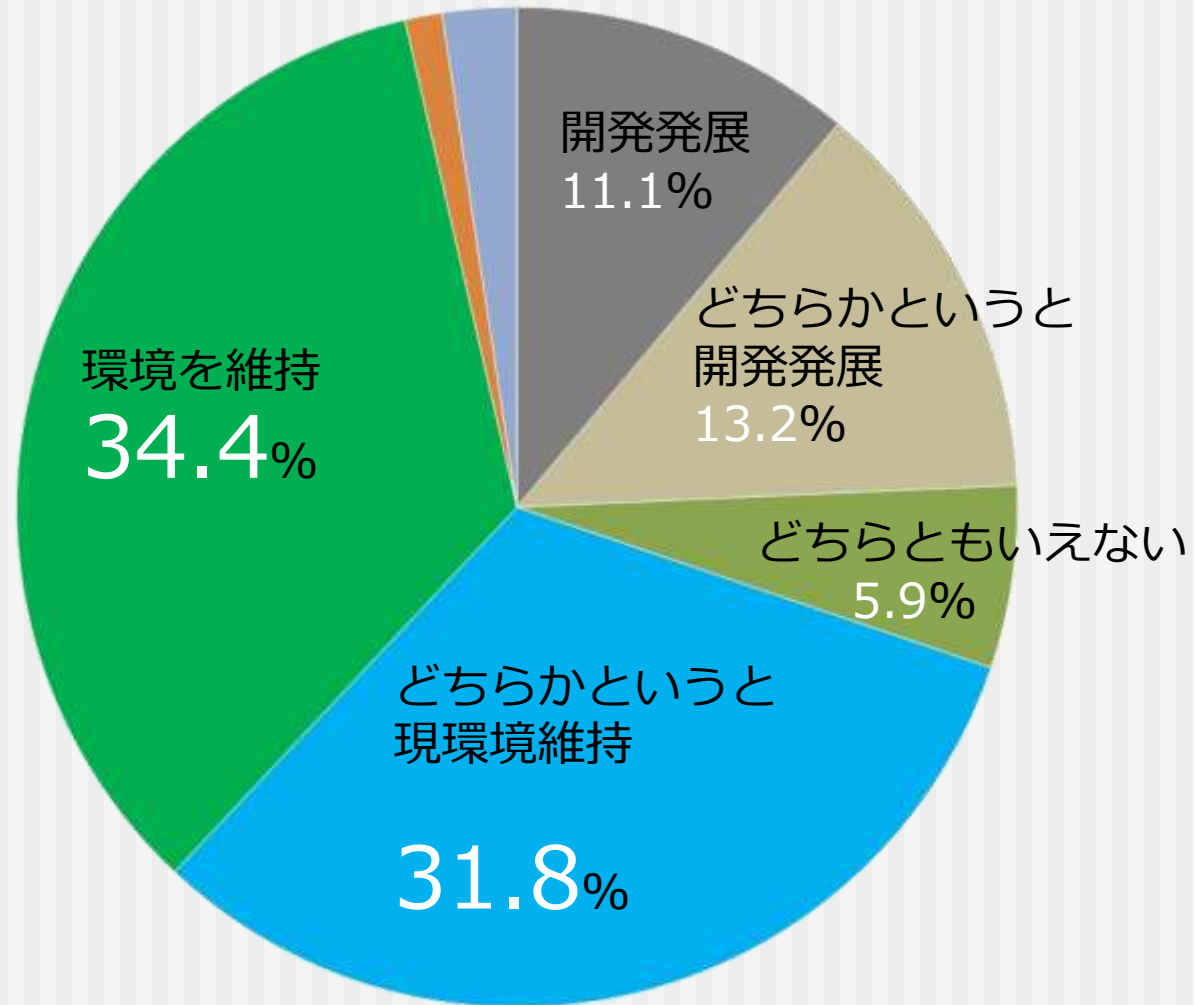


過去の造成によって粘土層露出？



夏でも草がまばらな特殊な草原

印西市民の街づくりへの意識



印西市 都市マス改訂の際の市民アンケート調査結果より
作図：亀成川を愛する会